

吹上小学校及び吹上北中学校の通学区域の変更に関する意見・提案 等 回収結果

1. 配布対象 ・ 吹上小学校在校生保護者
 ・ 吹上北中学校在校生保護者、未就学児保護者
 （筑波、吹上本町、榎戸 1 丁目、北新宿地区）
2. 回収件数 17 件（在校生保護者 15 件、未就学保護者 2 件）

主な意見 ※（ ）内は、回答書を提出した保護者の子の学年 等

【スケジュールについて】

①（吹上北中学校、小学校 4 年生）

●吹上北中学校から吹上中学校への学区変更は嬉しい。

現在、子供が吹上北中学校へ在籍しているが、部活動で下校が遅くなると真っ暗で怖いと言っている。また、通学時間が、小学校の時の倍の時間がかかり、一人で帰ってくる事が多く、親としては、街灯もなく暗闇の中、風も強く無事に帰ってきてくれるか心配。令和 5 年度からの変更を強く願う。

②（小学校 5 年生）

●令和 5 年度から下忍小学校への通学区域の変更はとても良い。

あまりに急であると児童も困惑するため、諮問にある括弧書きの通りに進めてほしい。

●スクールバスの活用に関しても賛成。

●筑波、吹上本町、榎戸一丁目地区に関して、令和 5 年度から吹上中学校の通学区域に変更することについても、括弧書きの経過措置の対応を含めて賛成である。

●北新宿地区の児童が下忍小学校に通学となった際に、環境の変化からの全児童の心や体調のケアを考えて、学校などに相談窓口、心のケア専門の方が一定期間でも良いのでいてくれたら良いと思う。

●令和 5 年度時点の 4・5・6 年生は吹上小学校卒業となるため、北新宿地区の児童も吹上中学校の通学区域にしてよいと思う。

北新宿地区についても、諮問書の括弧書きと同様に、筑波、吹上本町、榎戸一丁目と同じようにしてもらえば良いと思う。思春期で自身の様々な変化に戸惑うときに、北新宿地区の児童だけが違う中学校になるのも児童の気持ちが心配である。洲崎橋については小学校で何年も通った所なので中学生になって成長もしているので、過剰な心配はないと思う。もちろどこかで線引きは必要であると思うが。なるべく同じよ

うにしてもらいたい。

●今現在、コロナウイルス感染症禍で児童も学校生活で今まで出来たことや行事が出来ない中で、明るく元気に頑張っているのも、出来る限り子供が不安になったり、辛い思いをしない様に通学区域の見直しをお願いしたい。

③（小学校 5 年生）

●現在、北新宿地区の 5 年生は 20 人程度。審議事項にもあるとおり、令和 5 年度から北新宿地区の児童だけが吹上北中学校に進学することとなった場合は、余りにも少ない人数となる。

今までどおり、他の地区の児童も吹上北中学校に進学するのであれば特に心配していなかったが、今回の件を子供にも説明したところ、「なぜ北新宿地区だけなのか。人数が多い吹上中学校に行きたい。」と返答があった。

通学区域の見直しについては急に出てきた話で、児童・保護者共に困惑している。入学時に吹上北中学校と吹上中学校を選択できるなどの検討を是非お願いしたい。

④（小学校 5 年生）

●北新宿地区の中学校について、特に令和 5 年度時点での 5 年生、6 年生は友人関係のこともあるので、選択制が良いのではないかと思う。

⑤（小学校 4 年生）

●中学校への進学先が分かれてしまう件について

移行期間、北新宿地区の児童だけが吹上北中学校に進学することについて、現状でも吹上小学校から吹上北中学校への進学は少人数で上の子供も苦勞している。それ以上に少人数であるという事を心配している。移行期間の中で、吹上中学校への進学という選択肢はないのか。

⑥（小学校 3 年生）

●学区の変更があったとしても吹上小学校に通い卒業したい。そして吹上中学校に仲間と一緒に進学したいと子供が希望している。

吹上小学校に残る北新宿地区の児童についても、小中一貫、吹上中学校へ進学できるよう子供の気持ち最優先で検討願う。

⑦（小学校 2 年生）

●鴻巣市小・中学校適正規模・適正配置に関する考え方の基本的な考え方の 2 つ目に小中連携教育・小中一貫教育の推進・検討とある。その教育効果や市教委の取組（川里中学校区の成果等）から、小中一貫を進めることに賛同する。しかし、吹上小学校から吹上北中学校となる狭間の子供たち、つまりは北新宿地区の現在の吹上小学校在

校生はその取組から外れてしまうため、残念である。

「元々、吹上北中学校区域である。（中学校選択制はない。）通学区域の見直しの話があったから吹上小学校から吹上中学校という話が出てきた」と1月22日の意見交換会の場で市教委職員の発言があったが、小中一貫を進めていくための学区見直しと言いながら、回答は真逆のように感じた。

12～18 学級が適正規模であり、吹上中学校・吹上北中学校の教室にキャパシティがあるのであれば、狭間の子供たちを吹上小学校、下忍小学校、吹上中学校、吹上北中学校の選択をするよう認めるよう要望する。狭間一年数だと思うので、検討を願う。

（令和 10 年度まで経過措置として吹上小学校、下忍小学校を選択できると審議事項（1）にあったが、それだけ長い期間を認定できるのであれば狭間の児童の数年は選択できるのではないか）

●今回の通学区域の見直し（北新宿地区）の一因として洲崎橋ばかりがクローズアップされているが、洲崎橋にはスクールガードリーダー、保護者がついており、学区を変える程のものとは思えない。

北新宿地区から吹上小学校まで全体の交通量、危険な運転の車の方が問題であると考ええる。

また以前からスクールゾーンにという要望をあげているが聞き届いていないという話を聞いた。根本的な解決にならない、なっていない中で吹上小学校への通学を選択することは「事故があっても自己責任」と言われているように感じる。

同じように感じている保護者も複数いるという事を理解してもらい、保護者の意見・要望を酌むよう願う。

●通学区域審議会に今後の児童生徒数推移（見込み予定）を示し、可能な限り市ホームページに掲載するなど、一部の方の話し合いにならないよう情報を公開してほしい。

⑧ （小学校 4 年生）

●吹上北中学校の通学区域の変更について、賛成。

距離も近距離となり、街灯も多く、通学路も明るいので安心。

⑨ （小学校 3 年生）

●審議事項（1）について、当初、吹上小学校区域と考えて、住居を購入した家庭もある。令和 5 年度からというのはその家庭にとって不満に繋がると考える。

市の対応として、学校選択制度などは考えられないのか。

●審議事項（3）について、中一ギャップという問題がある。小学校から中学校への進学は子供にとっても親にとっても大きなターニングポイントと言える。学区の変更により吹上北中学校へ入学する人数が大幅に減少することになる。このことにより、吹上北中学校に入学する北新宿地区の子供と保護者の不安は大きくなると考えられる。また、下忍小学校から入学する子供や親にとっても不満が出ると考えられる。

心の問題、学力差、兄弟の問題などを踏まえ、こちらも北新宿地区の児童が、吹上中学校または吹上北中学校の選択をできるようにするのが望ましいと考える。

⑩（小学校 5 年生）

●北新宿地区については洲崎橋を通らない通学路は本当に考えることは出来ないのか。

例えば、洲崎橋を通らずに元荒川沿いを歩き、榛名橋を渡り、本町 5 丁目通学路を通ったり、歩道橋を渡る。またはセキ薬品駐車場の脇を通り榛名橋を渡るなど学区外の通学路を通ることは出来ないのか。

●経過措置期間に在籍している子供の不安や負担を考えると高学年や中学生は友人関係も出来上がっている難しい年代になり、途中から転校と考えるのは難しいと思う。

スクールバスの登下校の送迎は確実なのか。登校のみとなったりしないのか。

費用のことを考えると下忍小学校に近い、筑波地区が変更されるのが良いのではないか。

●中学区の通学区域の変更には本町から吹上北中学校通学路はあまり良くないと聞く。同じ小学校から同じ中学校への進学への進学の方が、今でも吹上北中学校へ進学する人数が少なく、不安があったので軽減されると思う。

しかし、同じ小学校から同じ中学校への進学を目指しているのであれば、北新宿地区だけが選択することができない場合、北新宿地区の子供だけが吹上北中学校へ通うことに対して、子供も親も少ない人数になることに不安になってしまわないか。

●兄弟配慮とあるが兄弟がいる家庭にとって兄弟が別々にならない様にと考えていても、仮に令和 5 年度から始まらず、上の子が吹上北中学校のままで進学の場合、下の子の時には吹上中学校へという流れになった時には、保護者は兄弟が一緒にと考えていても、下の子は近所や同学年の子が吹上中学校への進学となった場合は、子供は嫌がったり、不安になったり悩んで負担が多くなり中学校に行くことに抵抗を覚えるようになってしまうのではないかと不安で、親も決められない。

決定するのは教育委員会で決定し、子供や親が決めることを負担にならないようにしてほしい。通うのは子供たちであるため、子供たちの気持ちに寄り添ってもらいたい。

⑪（小学校 5 年生）

●「鴻巣市小・中学校の適正規模・適正配置に関する考え方」に基づくのであれば、吹上小学校を卒業した北新宿地区の児童についても、吹上中学校に進学できるよう経過措置を設けてほしい。

他地区の児童は、小中一貫となり、より良い環境となるのに対して、北新宿地区の児童は現状よりも厳しい環境となってしまう。

現在、北新宿地区の 5 年生は 19 人。頼れる仲間も少ない中で、下忍小学校卒の友

人関係が構築された中に入っていけるのか、子供が不安に思っている。

子供本人は友人の多い吹上中学校に進学することを希望している。

コロナウイルス感染症禍で通常通りの生活が送れない今、少しでも不安を取り除けるよう、子供たちの気持ちを一番に考えてもらいたい。

⑫（小学校 1 年生、3 年生）

●北新宿地区の通学路における洲崎橋及び周辺の問題について、以前より安全面で問題視されているところではあるが、何年たっても洲崎橋の改修工事は行われず、通学児童が危険にさらされている現状。

国は予算計上するという話も聞いている。それでも何故洲崎橋の改修工事は行われないのか。

通学区域の見直しは現在の北新宿地区の児童の安全を確保されてから検討すべき。

また、北新宿地区において、土地区画整理事業を実施する時点で児童の増加は予想できたことと考える。

以上のことにより、通学区域の見直しには反対する。洲崎橋の改修を早期に実施してほしい（依頼してほしい）。

⑬（小学校 3 年生）

●北新宿地区のみの吹上小学校から下忍小学校、吹上北中学校へ変更は反対。

筑波、吹上本町、榎戸一丁目も下忍小学校の方が近いのではないかと。

自宅購入の際に学区を検討し購入している。もう少し猶予がほしい。

スクールバスについても北新宿地区と近隣の地区の使用など色々とある。

せめて、現 3 年生までの子供たちに対しては、吹上小学校、吹上中学校に通学できるように検討してほしい。

⑭（小学校 1 年生、3 年生、5 年生）

●洲崎橋が問題とされていたことは把握しているが、北新宿地区が下忍小学校に行くことで、解決することなのか。

上記の措置をすることで以下のメリット、デメリットがある。

メリット：洲崎橋を渡らず学校へ通学できる。

デメリット：・17 号を横断することになる。（洲崎橋を通ると危険度はたいして変わらないのではないかと。）

・距離が全く変わらない。

・吹上小学校へ通う児童が少なくなる。（大芦・小谷小学校を吹上小学校に合併する予定があるのなら、同時に進めるべきだと思う。）

●経過措置で希望する児童は吹上小学校へ通えるとあるが、新 1 年生だけが希望する場合、徒歩で通学することは可能なのか。スクールバスを運行することが 1 番の解決

策になるのではないかと思う。

⑮ （未就学児）

●吹上小学校を選択した場合、吹上北中学校へ進学する子供は本当に少数となる。小中連携教育を掲げるのであれば、その少数の子供を切り捨てるのは違うと思う。

また、現在吹上小学校に通っている子供に意見を聞いてほしい。

大人だけが集まって決める問題ではありません。通うのは子供。

吹上小学校から吹上北中学校に進学することになれば、色々な課題が出てくるかもしれないが、どうか子供の気持ちを一番に考えてほしい。

●下忍小学校を選択した場合、行事等の際の駐車場は確保できているのか。歩いて行くには遠すぎる。

⑯ （未就学児）

●北新宿地区在住だが、通学区域の見直しには賛成である。通学路の危険や低学年の子供たちにとっては距離が長すぎるのではないかと以前から思っていた。

ただ、スクールバスによる体力低下やいじめ等も気になるので、デメリットもよく検討した上で、できる限り問題を最小限にできるようルールづくりをしてほしいと思う。

※⑰（小学校 1 年生） 白紙 1 枚